1.はじめに

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

普段の業務でこんなことはありませんか？

「緊急じゃないし、先生に電話しにくいな」

「患者さんの状態、みんなに共有しておいた方がいいかな」

「電話のタイミングがあわなくて困ったな」

「FAXが多くて管理するのが大変だな」

「会議の招集と議事録の共有が面倒だな」

解決

MedicalCare STATION

MCSは無料で簡単に連携することができます！

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

2.MCSとは

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

MedicalCare STATION

MedicalCareSTATIONの頭文字を取ってMCSと呼ばれています

医療介護従事者専用に開発されたチャットツールです

会社概要

会社名	エンブレース株式会社
本社所在地	東京都千代田区有楽町2-7-1 12F
電話番号	03-6860-4527
設立	2001年11月6日
業務内容	ソーシャル医療プラットフォーム事業 ・メディカルケアステーションMCS運営 ・MCSを基盤としたプラットフォーム事業

- 操作がとても簡単！
- 医療介護従事者の方は無料
- 様々な端末で利用可能（ガラケーを除く）
- 多数の医師会や行政の方がご利用
- 厚生労働省等のガイドラインに準拠
- 患者さん利用者さんの情報を扱えるセキュリティ

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

2.MCSとは（採用実績）

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

群馬県医師会
（全県正式採用）

専用ページに治療状況／見守り機能

県医師会は、在宅医療や介護に携わる医療関係者向けに、インターネット上のSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を活用した情報共有システムを整える。

県医師会

患者や治療の情報を一元化し、医師や薬剤師、ケアマネジャーといった多職種にまたがる関係者の連携をしやすくする狙い。相談は、より効率的で、質の高い医療の提供につながる」と期待している。

在宅医療にSNS活用

県から委託した事業で、医師会によると都道府県規模でこうした仕組みをつくるのは全国初。7月にも運用を始める。

医療関係者専用の既存SNSに患者」との専用ページを設け、治療の状況を書き込んだり、画像をアップロードできる。このSNSには医師会独自の機能を付加する方針で、県内の医療機関の地図表示システムや、患者の体調を自動的に記録する異り機能などが検討されている。

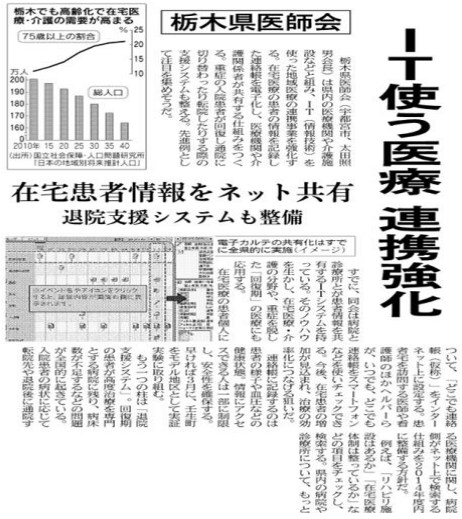
従来、在宅医療や介護に携わる医療関係者の連絡は、電話やファクス、メールなど手段がまちまちで、実際に患者と会わなければ分からないこともあった。という。医師会はSNSの活用で「スマートフォンやパソコンがあれば、時間や場所に関係なく、最新の情報を指摘できる」（担当者）として、業務の解決につながるとしている。

個人情報保護のため、患者のページを閲覧できるのは主治医らが許可した人のみ。運用開始に合わせ、共有できる情報を定めた指針も作成する。

場合によっては患者にもSNSに参加してもらい、自身の治療状況を把握したり、医療関係者との信頼醸成に役立てることも想定している。

医師会は6月上旬（後？）時から、このシステムを周知するための医療関係者向けのシンポジウムを高崎市八島町のホテルメトロポリタン高崎で開く。

栃木県医師会
（全県正式採用）


栃木県医師会

IT使う医療 連携強化

栃木でも高齢化で在宅医療・介護の需要が高まる

在宅患者情報をネット共有
退院支援システムも整備

栃木県医師会（宇都宮市、太田照男会長）は県内の医療機関や介護施設などに組み、IT（情報技術）を使った地域医療の連携事業を強化する。在宅医療の患者の情報を記録した連絡帳を電子化し、医療機関や介護関係者が共有する仕組みをつくる。重症の入院患者が回復し、退院に切り替わった段階で転院したりする際の支援システムも整える。先進例として注目を集めそうだ。

電子カルテの共有化はすでに全県的に実施（イメージ）

すでに、同会は病院と診療所などが患者情報を共有するITシステムを導入している。そのノウハウを生かし、在宅医療・介護の分野で、重症を脱した「回復期」の医療にも応用する。

在宅医療の患者情報（入院、健康状態、情報にアクセスできるのは一部に制限し、安全性を優先する。早ければ4月に、王子町をモデル地区として実証実験に取り組む。

もう一つの狙いは、退院支援システム。回復期の患者が急性期病院を出た後、自宅や高齢者施設などに戻る割合が高まり、病床数が不足するなどの問題が全国的に起きている。入院患者の病状に応じて転院先や退院後の過ごし方について、「どこでも連絡」医療機関同士、病院側が（秘）ネットシステムを構築する。患者を訪問する医師や看護師のほかヘルパーら関係者がいつでも、どこでも連絡帳をスマートフォンなどを使いチェックできる。今後、在宅医療の増加が見込まれ、治療の効率化について、もっと検証する。県内の病院や診療所などの閲覧チェックして、「患者の状態を把握する」（担当者）ことを目指す。

仕組みは2013年度内に試験的に稼働する方針だ。

例えば、「入院日」「治療内容」「体調は安定しているか」「在宅医療は可能か」などを記録する。

京都府医師会
（全県正式採用）

埼玉県医師会
（全県正式採用）

多数の医師会にご利用いただき、15万人以上の方にご利用いただいています

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

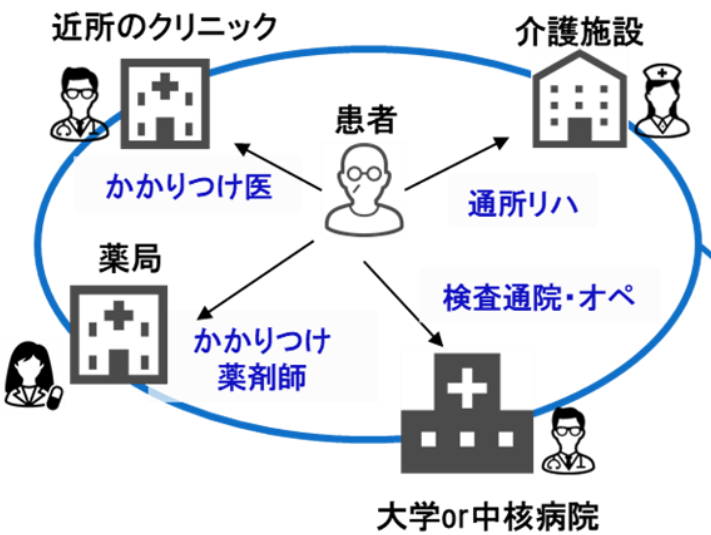
2.MCSとは

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

お使いの電話、FAX、メールに置き換わる機能を有しています

患者タイムライン機能

患者さんの名前毎にグループ作成
⇩
連絡帳の代わりとして情報共有



コミュニティ機能

地域、専門性、治療等
様々なテーマの掲示板が公開
⇩
興味のある掲示板に参加し情報共有

グループ機能

職場内、地域、職種等自由にグループ作成
⇩
議事録や連絡網として情報共有

つながり機能

MCSでつながっているスタッフと
１対１のメッセージのやりとりが可能

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

2.MCSとは

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

患者さんの訪問時の状況を
MCSでタイムリーに管理・共有することにより
患者さんの治療ケアの向上に繋がり、適切な治療ができます

文書以外に
写真、動画の
共有が可能

自分の
タイミングで
メッセージを
送ることが
できる

患者さん本人やご家族とのやりとりが可能

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

3.MCSでできること

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

「見る」
「伝える」

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

3.MCSでできること（見る）

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

「見るだけ」でわかる

患者、利用者に関する参加メンバーの書き込みや資料を見ることができます。

「リアルタイム」「時系列」でわかる

情報は書き込まれたらすぐに見ることができます。
時系列で表示されるため、前後の流れと最新情報がわかります。

患者、利用者ごとに情報がわかる

登録情報(病歴、連絡先など)、やりとり、資料などが患者、利用者ごとに集まっているため、情報を探す手間が減り、紛失することもなくなります。

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

3.MCSでできること（伝える）

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

「書き込む」ことで伝わる

連絡したいこと、共有したいことを書き込みます。
リアルタイムで書き込まれ、参加メンバーは好きなときに確認ができます。

「動画」「画像」「ファイル」で伝える

手書き資料の写真や撮影した動画、PDFやワード、エクセルなど様々なファイルを簡単にアップできます。

グループ全員から1対1まで伝えたい人だけに

患者を中心としたグループでは関係者全員に。
特定の方に絞り込んだり、1対1でのやり取りも可能です。関係者しかいないので、個人情報も安心して取り扱うことができます。

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

4.MCS活用事例(コミュニティ機能)

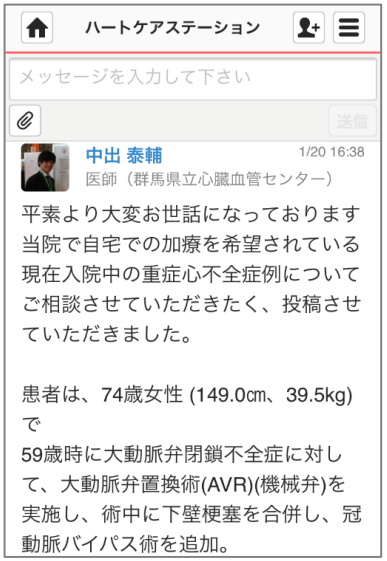
Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

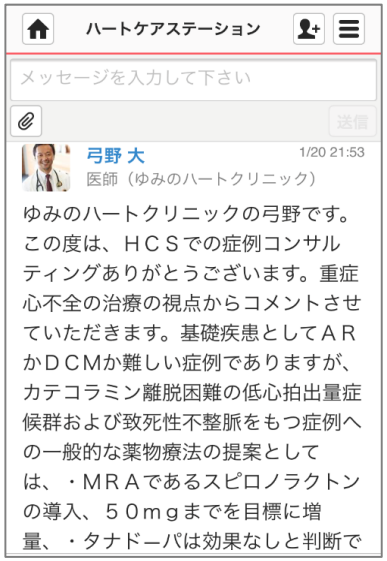
循環器疾患、心不全において、同じ領域で問題を抱える医師・看護師・リハスタッフなどの医療従事者コミュニティをMCSで展開。
心不全認定看護師からのレクチャーや医師への相談などを行う場として活用が進んでいる。

MCSのコミュニティ機能を学びの場として活用され
施設や領域を超えた知識の共有が全国レベルで行われています
（その他、各地域や職種毎のコミュニティや企業の情報発信の場として活用されています）

▲左から弓野大氏（医師・医療法人社団ゆみの 理事長）、齋藤慶子氏（ソーシャルワーカー・ゆみのハートクリニック 在宅療養支援室室長）、高圓恵理氏（ゆみのハートクリニック看護師）、田中宏和氏（医師・ゆみのハートクリニック院長）、堀部秀夫氏（医療法人社団ゆみの 理事・最高経営責任者）

▼群馬県立心臓血管センターの医師がゆみのハートクリニックに相談し、弓野医師が回答





© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

4.MCS活用事例(コミュニティ機能)

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

コミュニティ機能を地域の「災害対策」に活用されるケースが増加。
災害発生時に、地域の医療介護者が電気水道等のライフライン、施設の被災状況、ケアが必要な患者への対応などを共有。

災害時に役立った400名超の多職種ネットワーク『虹ねっとcom』（大阪・豊中市）

Facebook　Twitter　印刷

大阪で広域的な地域包括ケアシステムの実現に向けて取り組む「つじクリニック」院長の

今夏の天災時に役立った『虹ねっとcom』

2018年6月18日に最大震度６弱を記録した大阪府北部地震。時刻は朝の通勤時間帯に当たる午前７時58分。豊中市と隣接する箕面市では、震度６弱、豊中市では震度５強が観測された。辻医師は豊中市の自宅で大きな揺れを感じ、まもなく停電。真っ先に『虹ねっとcom』で関係者への呼びかけを行った。

「停電は短時間だったので、すぐにテレビは見られたのですが、報道されるのは、広域情報や被害の大きい場所の情報ばかり。私たちが知りたい、自分たちの患者がいるエリアの様子はなかなか出てこない。停電が終わっても数時間は電話がつながりにくい状態が続き、地域の情報共有で最も役立ったのが『虹ねっとcom』（MCS）でした。『虹ねっとcom』でつながっている医療・介護スタッフはこのエリアで働いているので、どの程度の被害がどこに出ているかの情報がどんどん共有されました。こうしたピンポイントの情報が在宅医療を行ううえでとても役立ちました」

さらに９月４日には、近畿地方を超大型の台風21号が直撃。大阪の都市部への影響は甚大で、停電は地震のときより長引いたところもあった。『虹ねっとcom』には当日の14時18分にエリア内の被災状況や安否確認が上がり始め、最初の２、３分で６件の投稿があった。

「たとえば、強風で電柱が倒れ道路がふさがれている箕面の写真を見て、そこを車が通行できない状況であることが分かりました」（辻氏）
停電でファクスや電話がつながりにくいような被災直後において、MCSが役立つツールであることが図らずとも実証されたのである。

▼台風21号被災時の実際のやりとり

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

5.利用者の声

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

医師

「すぐに簡単に始められた」
「一日の電話着信履歴が55件から5件に減った」
「(病状が安定していると書き込みは少ないから)変化のある患者に集中して適切な連携が取れる」

看護師

「申し送りの時間や会議も短くて済むようになり、残業が減った」
「余裕ができることで患者とゆっくり向き合えるようになった」

ケアマネ

「ヘルパーが入る予定も簡単に共有できた」

ヘルパー

「ヘルパー間の情報共有ができた
(例：スプーンの持ち方)」

薬剤師

「報告のタイミングが難しい重大な非緊急情報(特に医師への報告)が簡単にできるようになった」
「情報共有＝同じ目標(ゴール)を共有できるようになった」
「看護師が訪問する前にレスキューをタイムリーに届けられた」

患者・家族

「先生やスタッフへの信頼が増した」
「訪問に来たスタッフがみな、私の状況をわかってくれている」
「今までは、いちいち同じ質問に答えなければならなかったが、それがなくなった」

利用者様アンケートより抜粋

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

6.よくある問い合わせ

Design Your Smile
健康創造のスズケングループ

Q：MCSとは何ですか？

A：電話やFAXに代わる、医療介護従事者専用の非公開型SNSです。

Q：MCSの利用料金は？

A：MCSは医療介護に関わる方を置き去りにしないというコンセプトのもと、医療介護者、患者様ともに初期費用、月額費用ともに無料となります。

Q：MCSはなぜ無料なの？

A：運営コストについてはアプリパートナーからの収益やその他のサービスから得られる収益で行っています。

Q：LINE等他のSNSとの違いは？

A：厚生労働省の医療情報システムの安全管理に関するガイドライン等に基づきご利用いただけるよう、個々のグループごとに多職種スタッフのアクセス制御（招待と解除）が出来る仕組みをご提供しております。（非公開型）

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.

Design Your Smile

健康創造の
スズケングループ

© 2021 SUZUKEN CO.,LTD.